

本の扉

10月号
2024. 10. 25

前橋東高校 図書委員会
2年3組

ハッピーハロウィーン!もう少しでハロウィンですね～。ハロウィンと言えば、甘いお菓子や、おばけ、パンプキン、不気味な雰囲気の街などが楽しみのイベントですね!!今回はそんなハロウィンに関係のある本をメインに、秋におすすめの本をピックアップしてみました!ぜひご覧ください!



『おさるのジョージ ハロウィン・パーティーに行く』

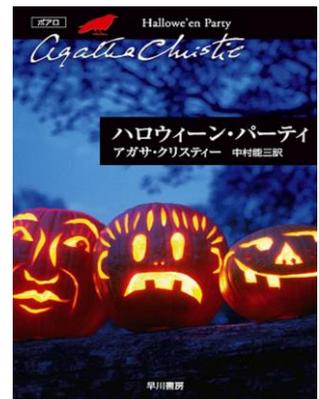
(著者:マーガレット・E・レイ 訳:福本友美子 / 出版社:岩波書店)

子猿のおさるのジョージは黄色いおじさんと一緒に友達のグレイさんの家でおこなわれる仮装パーティーに参加することになりました。ジョージはカウボーイの衣装を着て準備万端!初めてのハロウィン仮装パーティーはどうなってしまうのか!?

『ハロウィン・パーティ』

(著者:アガサ・クリスティ 訳:中村能三/出版社:岩波書店)

推理作家のオリヴァ夫人を迎えたハロウィン・パーティが開かれた。そのパーティで少女が殺人現場を目撃したことがあると言い出した。その後、その少女はリンゴ食い競争用のバケツに首を突っ込んで死んでいるのが発見された。起こってしまったおぞましい殺人の謎を追う。



『秋桜』

(著者:さだまさし / 出版社:サンマーク出版)

皆さんも知っているであろう作曲家のさだまさしが作詞・作曲し、歌手の山口百恵によって1977年にリリースされた「秋桜」が、絵本となって登場!美しい絵と歌詞に沿った物語には、きっとあなたも釘付け👁️



『ハロウィーンまで、まってなさい』

(著者:ミリアム・ヤング 訳:小宮由 / 出版社:岩波書店)

おもちゃ屋さんの魔女の四人姉妹が、意地悪されたお客さんにいたずら三昧。しかもそのいたずらは、どれもこれも手加減なし!しかし、末っ子のナネットは呪文を知らなくて…。皆さんも、もうじき訪れるハロウィーンの夜には要注意 ⚠



『次の突きたりをまっすぐ』

(著者:いしわたり淳治 / 出版社:筑摩書房)

作詞家「いしわたり淳治」によって書かれた、28の“超”短編小説。様々なシチュエーションでの話に加え、その中にはハロウィンについての話もあったりして…。作詞家ならではの仕掛けだらけの言葉遣いに注目せよ!



📖 図書館の貸出し状況(4/1~10/18)をお知らせします!

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	職員
1年	372	43	110	25	139	-	689	286
2年	69	56	71	29	23	-	248	
3年	153	77	106	60	29	117	542	
						合計	1,479	1,765

🍎 図書委員会よりお知らせ

「読書の秋」が到来!ということで…

- ・11/15(金)放課後 : 図書委員による校内ビブリオバトル
- ・11/20(水)6限 : 1・3年生LHRビブリオバトル

の実施を予定しています!!

この機会にぜひ本を手にとって読み、仲間にもおすすめしてみよう!

図書館にも足を運んでみてね(*^ ^)v

